## 東北大学2019年(文•後)第1問

次の等式を満たす実数αをすべて求めよ。

$$\int_0^1 |x^2 - ax| dx = \frac{1}{3}$$

## 東北大学2019年(文・後)第1問

### (解答)

与式 = 
$$\int_0^1 x|x - a|dx$$

(i)  $a \ge 1$  のとき

与式 = 
$$\int_0^1 (-x^2 + ax) dx = \left[ -\frac{1}{3}x^3 + \frac{1}{2}ax^2 \right]_0^1 = -\frac{1}{3} + \frac{1}{2}a = \frac{1}{3}$$
  $\therefore a = \frac{4}{3}$ 

(ii) a ≤ 0 のとき

与式 = 
$$\int_0^1 (x^2 - ax) dx = \left[\frac{1}{3}x^3 - \frac{1}{2}ax^2\right]_0^1 = \frac{1}{3} - \frac{1}{2}a = \frac{1}{3}$$
  $\therefore a = 0$ 

(iii) 0 < a < 1 のとき

与式 = 
$$\int_0^a (-x^2 + ax)dx + \int_a^1 (x^2 - ax)dx = \left[ -\frac{1}{3}x^3 + \frac{1}{2}ax^2 \right]_0^a + \left[ \frac{1}{3}x^3 - \frac{1}{2}ax^2 \right]_a^1 = \frac{1}{3}a^3 - \frac{1}{2}a + \frac{1}{3}a = \frac{1}{3}a^3 - \frac{1}{2}ax^3 + \frac{1}{3}ax^3 - \frac{1}{2}ax^3 - \frac{1}{2}ax^$$

これより、 $\frac{a}{6}(\sqrt{2}a+\sqrt{3})(\sqrt{2}a-\sqrt{3})=0$  なので、これを満たすaは存在しない。

以上より、
$$a=0,\frac{4}{3}$$

#### (解説)

よくある絶対値のついた定積分ですが、文系ということもあり難しくありません。

当然ですが、絶対値を外したくなりますが、すんなり外せないので、場合分けをするのが常套手段です。 結局、上記のような解答になります。確実に正解しましょう。

# 北海道大学2017年(理·前)第2問

関数 $f(x) = 1 + \sin x - x \cos x$  について、以下の問いに答えよ。

- (1) f(x)の  $0 \le x \le 2\pi$  における増減を調べ、最大値と最小値を求めよ。
- (2) f(x)の不定積分を求めよ。
- (3) 次の定積分の値を求めよ。

$$\int_0^{2\pi} |f(x)| dx$$

# 北海道大学2017年(理•前)第2問

#### (解答)

$$(1) f'(x) = \cos x - (\cos x - x \sin x) = x \sin x$$

x	0		π		$\frac{3}{2}\pi$		$2\pi$
f'(x)	0	+	0	_	_	_	0
f(x)	1	7	$1 + \pi$	V	0	V	$1-2\pi$

: 増減表より、最大値は  $1+\pi$ 、最小値は  $1-2\pi$ 

$$(2) \int f(x) dx = \int (1 + \sin x - x \cos x) dx$$

$$= x - \cos x - \int (x \cos x) dx$$

$$= x - \cos x - \left(x \sin x - \int \sin x dx\right)$$

$$= x - 2\cos x - x\sin x + C \quad (C \cup 5)$$

$$(3) \int_0^{2\pi} |f(x)| dx = \int_0^{\frac{3}{2}\pi} f(x) dx - \int_{\frac{3}{2}\pi}^{2\pi} f(x) dx$$

$$= \left[ x - 2\cos x - x\sin x \right]_0^{\frac{3}{2}\pi} - \left[ x - 2\cos x - x\sin x \right]_{\frac{3}{2}\pi}^{2\pi}$$

$$= \left( \frac{3}{2}\pi + \frac{3}{2}\pi + 2 \right) - \left( 2\pi - 2 - \frac{3}{2}\pi - \frac{3}{2}\pi \right)$$

$$= 4 + 4\pi$$

## (解説)

難しくない問題です。基本さえ押さえていれば回答できます。

きちんと誘導されており、基本を問う、かつ部分点で差をつけようといういい問題だと思います。 確実に正解しましょう。

## 東京工業大学 2011 年(前)第2問

実数xに対して、 $f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos t - x \sin 2t| dt$ とおく。

(1) 関数f(x)の最小値を求めよ。

(2) 定積分 
$$\int_0^1 f(x) dx$$
を求めよ。

### 東京工業大学 2011 年(前)第2問

### (回答)

$$(1) f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos t - x \sin 2t| \, dt = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos t| \, dt = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos t| \, dt$$

(i) 
$$x \le \frac{1}{2}$$
 のとき、 $f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} (\cos t - x \sin 2t) dt = \left[ \sin t + \frac{x}{2} \cos 2t \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 1 - x$ 

$$(ii) \ x \ge \frac{1}{2}$$
のとき、 $1 - 2x \sin \alpha = 0 \left( 0 < \alpha \le \frac{\pi}{2} \right)$ となる $\alpha$ が存在する。

このとき、
$$\sin \alpha = \frac{1}{2x}$$
,  $\cos 2\alpha = 1 - 2\sin^2 \alpha = 1 - \frac{1}{2x^2}$ 

$$f(x) = \int_0^\alpha (\cos t - x \sin 2t) \, dt - \int_\alpha^{\frac{\pi}{2}} (\cos t - x \sin 2t) \, dt = \left[ \sin t + \frac{1}{2} x \cos 2t \right]_0^\alpha - \left[ \sin t + \frac{1}{2} x \cos 2t \right]_\alpha^{\frac{\pi}{2}}$$

$$= \sin \alpha + \frac{1}{2} x \cos 2\alpha - \frac{1}{2} x - 1 + \frac{1}{2} x + \sin \alpha + \frac{1}{2} x \cos 2\alpha$$

$$= 2 \sin \alpha + x \cos 2\alpha - 1 = \frac{1}{2x} + x - 1$$

 $x \le \frac{1}{2}$ のとき、f(x)は単調減少なので、 $x \ge \frac{1}{2}$ についてのみ考えればよい。

$$f'(x) = -\frac{1}{2x^2} + 1 = -\frac{1}{2} \left( \frac{1}{x} + \sqrt{2} \right) \left( \frac{1}{x} - \sqrt{2} \right)$$

x	$\frac{1}{2}$		$\frac{1}{\sqrt{2}}$	
f'(x)		_	0	+
f(x)		`\	$\sqrt{2}-1$	7

: 求める最小値は、 $\sqrt{2}-1$ 

$$(2) \int_0^1 f(x) \, dx = \int_0^{\frac{1}{2}} (1 - x) \, dx + \int_{\frac{1}{2}}^1 \left( \frac{1}{2x} + x - 1 \right) dx = \left[ x - \frac{x^2}{2} \right]_0^{\frac{1}{2}} + \left[ \frac{1}{2} \log x + \frac{1}{2} x^2 - x \right]_{\frac{1}{2}}^1 = \frac{1}{4} + \frac{1}{2} \log 2$$

#### (俗字)

(2)はおまけのような問題です。絶対値付きの積分という設定で、当然絶対値の外れ方を考え、場合分けします。

後半だけを考えればいいように、 $x = \frac{1}{2}$ のときは、あえて両方の場合に含めました。

綺麗な形が出てくるとすっきりですね。絶対値の外しが終われば微分するのみ、ここ以降はセンターレベルです。 難関大受験生は完答必須でしょう。

### 東北大学2012年(理•前)第4問

 $0 \le x \le \pi$ に対して、関数f(x)を

$$f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos|t - x|}{1 + \sin|t - x|} dt$$

と定める。f(x)の  $0 \le x \le \pi$ における最大値と最小値を求めよ。

## 東北大学2012年(理·前)第4問

#### (回答)

$$(i)\frac{\pi}{2} \le x \le \pi$$
のとき、

$$f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos(x-t)}{1+\sin(x-t)} dt = \left[-\log\{1+\sin(x-t)\}\right]_0^{\frac{\pi}{2}} = \log\frac{1+\sin x}{1+\sin\left(x-\frac{\pi}{2}\right)} = \log\frac{1+\sin x}{1-\cos x}$$

$$g(x) = \frac{1 + \sin x}{1 - \cos x}$$
  $\xi$   $\xi$   $\xi$   $\xi$ ,  $g'(x) = \frac{\cos x (1 - \cos x) - \sin x (1 + \sin x)}{(1 - \cos x)^2} = \frac{-1 - \sqrt{2} \sin \left(x - \frac{\pi}{4}\right)}{(1 - \cos x)^2}$ 

$$\frac{\pi}{4} \le x - \frac{\pi}{4} \le \frac{3\pi}{4}$$
より、 $-1 - \sqrt{2}\sin\left(x - \frac{\pi}{4}\right) \le 0$  なので、

$$f(x)$$
の最大値は $f\left(\frac{\pi}{2}\right) = \log 2$ ,最小値は $f(\pi) = -\log 2$ 

$$(ii)$$
  $0 \le x \le \frac{\pi}{2}$ のとき、

$$f(x) = \int_0^x \frac{\cos(x-t)}{1+\sin(x-t)} dt + \int_x^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos(t-x)}{1+\sin(t-x)} dt$$
$$= \left[ -\log\{1+\sin(x-t)\} \right]_0^x + \left[ \log\{1+\sin(t-x)\} \right]_x^{\frac{\pi}{2}}$$

$$= \log(1 + \sin x) + \log\left\{1 + \sin\left(\frac{\pi}{2} - x\right)\right\}$$

$$= \log(1 + \sin x) + \log(1 + \cos x)$$

$$= \log(1 + \sin x)(1 + \cos x)$$

$$h(x) = (1 + \sin x)(1 + \cos x) とおくと、$$

$$h'(x) = \cos x (1 + \cos x) - \sin x (1 + \sin x) = (\cos x - \sin x)(\cos x + \sin x + 1)$$

これより、
$$f(x)$$
の最大値は $f\left(\frac{\pi}{4}\right) = 2\log\left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$ ,最小値は $f(0) = f\left(\frac{\pi}{2}\right) = \log 2$ 

$$(i)(ii)$$
より、 $f(x)$ の最大値は  $2\log\left(1+\frac{1}{\sqrt{2}}\right)$ , 最小値は  $-\log 2$ 

#### (解説)

よくある絶対値付きの定積分です。場合分けして絶対値を外すのが常套手段です。対数関数が単調増加なので、 微分する際は真数のみを考えていけばいいです。それなりの計算量であるが、こなしたい。